

分類項目	検体管理システム
医療	検体 - 検査依頼書照合システム』

導入業種	検体検査業
主要機器	PC、ハンディターミナル(Sparklet)、クレードル、OCR、専用BC付依頼書

導入環境 並びに 導入前の問題	<p>営業が検体と依頼書を引取りに行き、その検体に貼っている被検体者の名前を確認し、依頼書をOCRで読み込み発行したバーコードを貼る。この貼る時のミスをなくすシステムがないか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ミスは1%以下だが0%にしないといけない。 ・ 配送便が早く出たしまい、現状営業がこれに神経を使い不満が大きい。 <ul style="list-style-type: none"> ミス1 名前を間違え、違う人の検体にBCを貼ってしまう。 ミス2 同じ被検体者の検体でも2種類以上の検査をする事もある。検査1はA、検査2はBとしないといけないところが検査1をB、検査2をAと貼ってしまう。これは社内の検査ラインが止まってしまう。
-----------------------	--

システム概要	<p>物流管理をする上で、出来る限り源流でバーコード(BC)を貼り付け、管理を始めるのが重要である。検体の源流を考えたとき、被検体者名の記入時にBCと関連付けることが最もミスを無くする方法である。検査依頼書を改良し、依頼書毎のBC No.印刷とそれと同じBC No.ラベル(検体貼り付用)が付属したものを作成する。また、検査内容別に検体ラベルにBC印刷をしておく。</p> <p>検体と依頼書との検証はBCを使用することによりミス防止と効率化がはかれる。Sparkletの照合機能を使用することにより検証を可能にする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 検査依頼書の改良 依頼書毎のBC印刷とそれと同じBCラベル(検体貼り付用)が付属 ・ 検体へのBC貼付は撮取時に行う(病院・医療機関にて) ・ 取り込みデータと検査区分BCを照合確認する
--------	---

システム構成	<p>顧客(院内作業)</p> <p>OCRにてデータ取り込み</p> <p>検体ラベルに検査区分BC印刷とその照合により、検査の取り違いが解消</p> <p>検査別仕分け箱 BC読取り確認 仕分け</p> <p>取り込みデータと検査区分BCを照合し確認する</p>
--------	---

導入による効果	<ol style="list-style-type: none"> 1. 検査依頼書の改良により検体へのBC貼付作業のミスが解消 2. 検体ラベルに検査区分BC印刷とその照合により、検査の取り違いが解消 3. 機械的照合確認作業により、営業担当者の精神的負担が軽減した 4. 検査ラインへの配送便出発時間の厳守が図れるようになった
---------	--

その他	
-----	--